国土交通省
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

Press Release

インフラメンテナンス国民会議

令和５年１１月８日
東北地方整備局

持続可能なインフラメンテナンスの実現を目指し、２年連続同日開催します！！

「令和５年度 インフラメンテナンス市区町村長会議 東北ブロック」
「インフラメンテナンス国民会議東北フォーラム マッチングイベント in 山形」

「インフラメンテナンス市区町村長会議」（以下、市区町村長会議）は、メンテナンスに高い関心を有する市区町村長で構成され、令和４年４月２８日に設立されました。

東北ブロックでは、メンテナンス施策の更なる推進を図るため、令和５年度 市区町村長会議 東北ブロックを令和５年１２月１日に開催します。

あわせて、産学官民が一丸となってインフラメンテナンスに取り組むプラットフォームである「インフラメンテナンス国民会議 東北フォーラム」のマッチングイベントを同日開催します。

＜開催概要等＞

日　　時：令和５年１２月１日（金）
　　１０：００～１２：３０　マッチングイベント in 山形
　　１４：００～１６：００　市区町村長会議東北ブロック

会　　場：山形市民会館　小ホール（web 併用）
　　（山形県山形市香澄町 2-9-45）

添付資料：別紙１「令和５年度インフラメンテナンス市区町村長会議東北ブロック 次第」
　　別紙２「インフラメンテナンス国民会議東北フォーラム マッチングイベント in 山形 次第」

取　　材：会議は公開となります。取材を希望される場合は、別添「取材登録書」をご確認ください。

＜発表記者会＞

山形県政記者クラブ、宮城県政記者会、東北電力記者会、東北建設専門紙記者会

【問い合わせ先】

＜インフラメンテナンス市区町村長会議東北ブロックについて＞

東北ブロック事務局：岩手県宮古市都市整備部建設課　建設課長　去石（さりいし） 一良（かずよし）
TEL：0193-62-2111(代表)　/　FAX：0193-63-9115

＜インフラメンテナンス国民会議 東北フォーラムについて＞

東北フォーラム事務局：(株)復建技術コンサルタント　遠藤（えんどう） 敏雄（としお）（企画委員長）
TEL：022-262-1234

（窓口）国土交通省 東北地方整備局　企画部　企画課　課長補佐　葛西（かさい） 弘樹（ひろき）（内線 3156）
TEL：022-225-2171(代表)　/　FAX：022-221-9890

別添

令和５年度　インフラメンテナンス市区町村長会議　東北ブロック
インフラメンテナンス国民会議 東北フォーラム マッチングイベント in 山形

取材登録書

令和５年１２月１日（金）に開催する上記会議につきまして、取材を希望される報道機関におかれましては、会場設営及び配布資料の準備等のため事前に登録をお願いします。当日は開始１５分前までに会場へお越しください。受付は３０分前から行います。
なお、Ｗｅｂによる傍聴及び取材も受け付けております。個別にご相談ください。

登録申込期限：１１月２７日（月）１２：００まで

１　取材希望（取材をご希望される会議を丸で囲んで下さい）

マッチングイベント　・　市区町村長会議

２　報道機関名（会社名及び部署名）

３　氏名等

ご氏名 （複数で出席される場合は 代表者のみで結構です。）	連絡先 （当日連絡可能な携帯電話等）	人数 （代表者を含む）

４　送付先
（市区町村長会議）

mail：kensetsu@city.miyako.iwate.jp　（宮古市 建設課あて）

（マッチングイベント）

mail：thr-tohoku-f@mlit.go.jp　（国土交通省　東北地方整備局　企画課あて）

別紙１

令和５年度 インフラメンテナンス市区町村長会議
東北ブロック

日時：令和５年 12 月１日（金）14:00～16:00
場所：山形市民会館 小ホール（オンライン併用）

次　第

1. 開会挨拶
   山本 正徳　宮古市長（東北ブロック幹事）

2. 開催地挨拶
   佐藤 孝弘　山形市長（企画委員）

3. 来賓祝辞
   齋藤 博之　国土交通省 総合政策局 公共事業企画調整課長
   山本 巧　　国土交通省 東北地方整備局長

4. 議事：決議（活動計画（案））
   山本 正徳　宮古市長（東北ブロック幹事）

5. 講演
   「東北インフラマネジメント委員会の活動方針と
   　　インフラメンテナンス国民会議東北フォーラムの近況」（仮題）
   石川 雅美　土木学会 東北支部　東北インフラマネジメント委員会 委員長

   「国土交通省におけるインフラメンテナンスの取組」（仮題）
   齋藤 博之　国土交通省 総合政策局 公共事業企画調整課長

6. 意見交換
   ＜ブロック幹事＞　山本 正徳　宮古市長
   ＜企画委員＞　熊谷 雄一　八戸市長　　山田 裕一　白石市長
   　　穂積 志　　秋田市長　　佐藤 孝弘　山形市長
   　　門馬 和夫　南相馬市長
   ＜土木学会東北支部＞　石川 雅美　東北インフラマネジメント委員会 委員長
   ＜司　　会＞　東北地方整備局　宮本 健也 企画部長

7. 閉会
   門馬 和夫　南相馬市長（企画委員）

別紙２

インフラメンテナンス国民会議　東北フォーラム
マッチングイベント in 山形

日時：令和５年 12 月１日 10:00～
場所：山形市民会館（小ホール）
　　オンライン併催（Microsoft teams）

次　第

１．開会挨拶
　東北フォーラムリーダー　石川（いしかわ） 雅美（まさみ）（東北学院大学工学部教授）

２．講演　『橋梁点検及び補修について』南陽市 建設課

３．ニーズ発表
　（１）橋梁点検の効率化について　　山形市 都市整備部 道路整備課
　（２）道路施設の状況確認について　新庄市 都市整備課
　（３）下水道圧送管の点検について　北上市 都市整備部 下水道課

４．シーズ紹介
　＜橋梁点検の効率化部門＞
　（１）コニカミノルタ(株)
　　『コンクリート内部の鋼材・鉄筋の破断を非破壊で検査する技術』

　（２）ジオ・サーチ(株)
　　『床版内部の健全・劣化を非破壊で面的に把握するデジタル技術』

　（３）DataLabs(株)
　　『3D モルタル量・はつり深さ自動算出ツール』

　（４）首都高技術(株)
　　『道路橋の点検を高度化させ効率的に行う技術』

　（５）パシフィックコンサルタンツ(株)
　　『横断歩道橋の化粧板内部等、狭隘部の点検を効率的に行う技術』

（６）新和設計(株)
『橋梁点検車が使えない条件下において、桁下点検を効率的に行う技術』

＜道路施設の状況確認部門＞
（７）JIP テクノサイエンス(株)
『 スマートフォンを活用した路面調査システム』

（８）ニチレキ（株）
『スマートフォンを用いた安価な道路点検 DX システム』

＜下水道圧送管の点検部門＞
（９）(株)クボタ
『下水道圧送管路における硫酸腐食箇所の効率的な調査技術』

５．閉会挨拶
東北フォーラム企画委員長　遠藤（えんどう） 敏雄（としお）

【閉会後】意見交換及び名刺交換

インフラメンテナンス国民会議東北フォーラム

令和5年度
マッチングイベントin山形

『インフラメンテナンス国民会議 東北フォーラム』は、東北の地方公共団体が抱えるインフラメンテナンスに関する課題や悩み（ニーズ）の解決の糸口とすべく、企業が所有する技術（シーズ）を紹介するマッチングイベントを開催します！

日時：令和 5年 12月 1日 （金）10:00～12:30（予定）

会場：山形市民会館 小ホール（山形県山形市香澄町 2丁目9番45号）

参加無料（事前登録制）	**対面・オンライン併催** **定員300名（対面150名、オンライン150名程度 Microsoft teams使用予定**

参加にあたっての事前登録は、下記インフラメンテナンス国民会議東北フォーラムHPからお申し込みください。

http://www.thr.mlit.go.jp/Bumon/B00097/k00360/inhuramente/inhuramentetohoku.html 申し込み締め切り：11月27日（月）

プログラム

1．開会挨拶　フォーラムリーダー 石川雅美

2．講演
　講師：南陽市　建設課
　演題：『橋梁点検及び補修について』

3．ニーズ発表
　『橋梁点検の効率化について』山形市
　『道路施設の状況確認について』新庄市
　『下水道圧送管の点検について』北上市

4．シーズ紹介
　➢橋梁点検の効率化部門：６題
　➢道路施設の状況確認部門：２題
　➢下水道圧送管の点検部門：１題
　※シーズ詳細については、裏面をご覧ください。

5．閉会挨拶　企画委員長 遠藤敏雄



フォーラムリーダー
東北学院大学 工学部 教授
石川 雅美

令和5年7月開催：マッチングイベントin仙台の様子

『インフラメンテナンス国民会議　東北フォーラムは、インフラを良好な状態で持続的に活用することを目指し、平成30年4月27日に設立されました。
　産学官民が一丸となってメンテナンスに取り組む社会の実現に向けて活動しています。

本イベントは、土木学会継続教育CPDプログラムの認定を受ける予定です。

主催
インフラメンテナンス国民会議　東北フォーラム

協賛
（一財）みちのく創生支援機構

本事業は、（一財）みちのく創生支援機構の助成を受けています。

後援（予定）
（一社）日本建設業連合会　東北支部
（一社）東北建設業協会連合会
（一社）東北測量設計協会
（一社）青森県測量設計コンサルタント協会
（一社）岩手県測量設計業協会
（一社）秋田県県土整備コンサルタンツ協会
（一社）宮城県測量設計業協会
（一社）山形県測量設計業協会
（一社）福島県測量設計業協会
（一社）東北地域づくり協会
東北地方整備局、山形県、山形市

インフラメンテナンス国民会議　マッチングイベントin山形

日時：令和　5年　12月　1日　（金）10:00～12:30（予定）
会場：山形市民会館 小ホール（山形県山形市香澄町 2丁目9番45号）

プログラム

10:00 開会挨拶　東北フォーラムリーダー 石川 雅美（東北学院大学 工学部 教授）

10:05 講　　演　講師：南陽市　建設課
演題：『橋梁点検及び補修について』

10:20 ニーズ発表（取扱ニーズ３題）
『橋梁点検の効率化について』山形市
『道路施設の状況確認について』新庄市
『下水道圧送管の点検について』北上市

10:30 シーズ紹介

＜橋梁点検の効率化部門＞

コンクリート内部の鋼材・鉄筋の破断を非破壊で検査する技術・・・・・・・・・・・・・コニカミノルタ（株）
床板内部の健全・劣化を非破壊で面的に把握するデジタル技術・・・・・・・・・・・・ジオ・サーチ（株）
３Ｄモルタル量・はつり深さ自動算出ツール・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・DataLabs(株)
道路橋の点検を高度化させ効率的に行う技術・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・首都高技術（株）
横断歩道橋の化粧板内部等、狭隘部の点検を効率的に行う技術・・・・・・・パシフィックコンサルタンツ（株）
橋梁点検車が使えない条件下において、桁下点検を効率的に行う技術・・・・・・・・・・新和設計（株）

＜道路施設の状況確認部門＞

スマートフォンを活用した路面調査システム・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・JIPテクノサイエンス（株）
スマートフォンを用いた安価な道路点検DXシステム・・・・・・・・・・・・・・・・・ニチレキ（株）

＜下水道圧送管の点検部門＞

下水道圧送管路における硫酸腐食箇所の効率的な調査技術・・・・・・・・・・・・・・・・・(株)クボタ

12:25 閉会挨拶　企画委員長 遠藤敏雄（(株)復建技術コンサルタント）

背景：令和5年度実証実験の様子（令和5年10月25日）

山形市民会館　位置図（アクセス）



- JR山形駅東口より徒歩7分
- 市民会館に駐車場はございませんので、公共交通機関等をご利用いただきますようお願いいたします。
- 会館南隣にある駐車場は映画館利用者専用ですので、駐車はご遠慮ください。

問い合わせ先

インフラメンテナンス国民会議東北フォーラム事務局

(株)復建技術コンサルタント　TEL：022-262-1234
遠藤　敏雄（企画委員長）
後藤　和彦（担当）

東北地方整備局 企画部 企画課 TEL：022-225-2171
葛西　弘樹（課長補佐）　FAX：022-221-9890

Japanese Congress for Infrastructure Management

インフラメンテナンス国民会議

平成28年11月28日設立

「インフラメンテナンス国民会議」とは

○インフラメンテナンスに産学官民の技術や知恵を総動員するプラットフォームとして活動しています。

組織体制

■会長
冨山 和彦
株式会社経営共創基盤(IGPI) IGPIグループ会長
株式会社日本共創プラットフォーム（JPiX）代表取締役社長

■副会長
家田 仁
政策研究大学院大学 特別教授

実行委員会
国民会議全体の運営

- **企画部会**：企画等
- **広報部会**：インフラメンテナンスの理念普及、国民会議の広報
- **インフラメンテナンス市区町村長会議**（R4.4.28設立）
  - ・首長同士の意見交換による知見や意識の向上
  - ・トップダウンによるインフラメンテナンスの強力な推進
  - ・社会に対するインフランテナンスの必要性の啓発

954の首長が参画
<参画率50%以上！>

※「インフラメンテナンス市区町村長会議」は、行政会員である市区町村の長によって構成

- **公認フォーラム**
  - 革新的技術：オープンイノベーションによる異業種の連携や技術の融合、マッチング
  - 自治体支援：地方公共団体の課題解決、地方公共団体のニーズ・民間企業等のノウハウの情報交換
  - 技術者育成：地域における技術者育成の活動を支援
  - 市民参画：インフラやメンテナンスへの関わりを深めるための実践活動を展開
  - 海外市場展開：海外への情報発信や海外展開案件形成
  - 地方フォーラム：地方におけるオープンイノベーション推進等（全国10ブロック）

目的

①革新的技術の発掘と社会実装
②企業等の連携の促進
③地方自治体への支援
④インフラメンテナンスの理念の普及
⑤インフラメンテナンスへの市民参画の推進

会員数

（令和5年4月30日時点）
2,760者

行政会員	1,327者
企業会員	975者
団体会員	172者
個人会員	286者

公認フォーラムの活動内容例

○ 産学官民の会員ネットワークを活かし、自治体や地域の取組の発展に向けて活動を行います。

新技術の活用



メンテナンスの課題を解決する技術等の紹介や技術マッチング



新技術の導入検討のための現場試行の調整

地域一体で取り組むメンテナンス



地域が主体となったメンテナンス活動の紹介



地域一体の取り組みへのサポート

民間のノウハウ活用



包括的民間委託等の民間活用の取組み事例の紹介



個別施設計画の策定･実施の課題解決につながるアイデア紹介

技術者体制づくり



技術者の確保や育成に関する各地での取組み紹介



地域における技術者派遣の仕組みづくりの支援

インフラメンテナンス国民会議

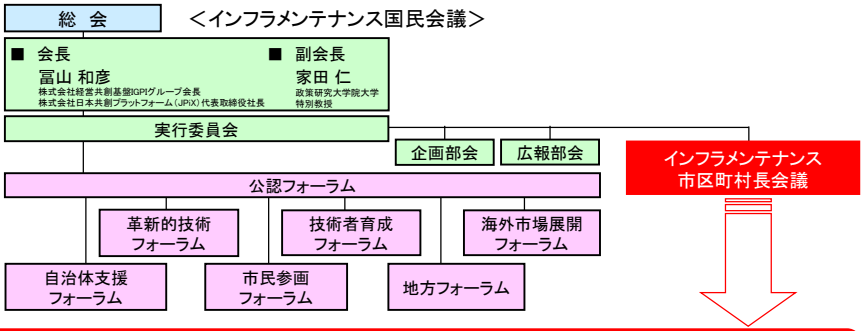
「インフラメンテナンス市区町村長会議」

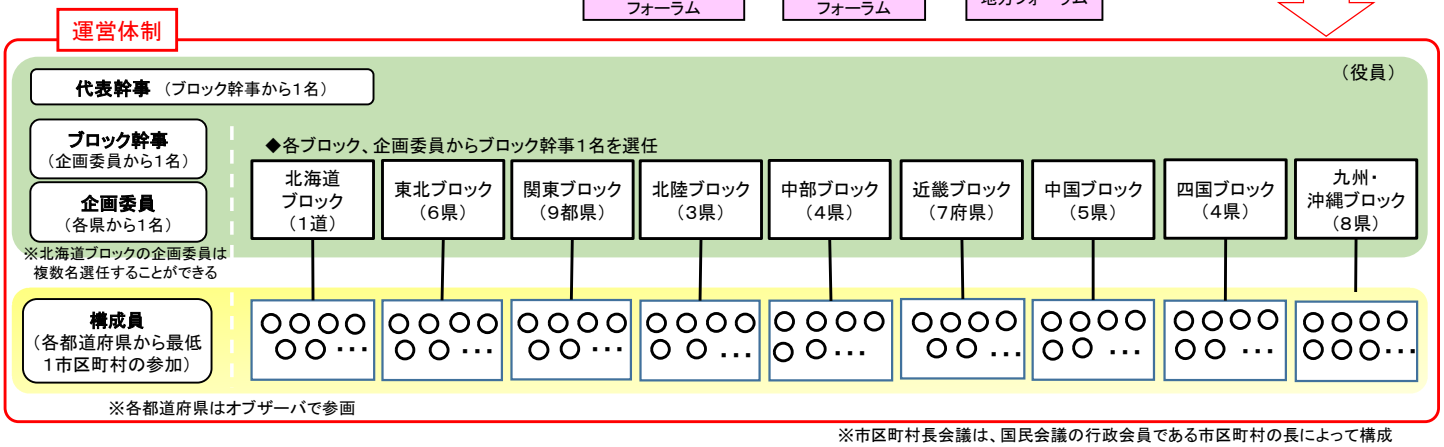
地方自治体において、予防保全への本格転換や新技術の活用など、効率的・効果的なインフラメンテナンスの実現を目的とし、メンテナンスに高い関心を有する市区町村長で構成する「インフラメンテナンス市区町村長会議」が令和４年４月に設立しました。

○首長同士の意見交換による、メンテナンスに関する知見や意識の向上

○トップダウンによるインフラメンテナンスの強力な推進

○社会に対するインフランテナンスの必要性の啓発





※市区町村長会議は、国民会議の行政会員である市区町村の長によって構成

（令和5年5月18日時点）

インフラメンテナンス市区町村長会議

〈代表幹事〉
東京都稲城市長

北海道ブロック	東北ブロック	関東ブロック	北陸ブロック	中部ブロック	近畿ブロック	中国ブロック	四国ブロック	九州・沖縄ブロック
〈ブロック幹事〉 北海道釧路市長	**〈ブロック幹事〉** 岩手県宮古市長	**〈ブロック幹事〉** 東京都稲城市長	**〈ブロック幹事〉** 新潟県新潟市長	**〈ブロック幹事〉** 岐阜県大野町長	**〈ブロック幹事〉** 兵庫県養父市長	**〈ブロック幹事〉** 岡山県総社市長	**〈ブロック幹事〉** 高知県須崎市長	**〈ブロック幹事〉** 熊本県熊本市長
〈企画委員〉 北海道釧路市長 北海道函館市長 北海道旭川市長 北海道釧路市長 北海道帯広市長 北海道北見市長 北海道留萌市長 北海道稚内市長 北海道倶知安町長 北海道白老町長	**〈企画委員〉** 青森県八戸市長 岩手県宮古市長 宮城県白石市長 秋田県秋田市長 山形県山形市長 福島県南相馬市長	**〈企画委員〉** 茨城県龍ケ崎市長 栃木県下野市長 群馬県安中市長 埼玉県春日部市長 千葉県木更津市長 東京都稲城市長 神奈川県厚木市長 山梨県甲府市長 長野県大町市長	**〈企画委員〉** 新潟県新潟市長 富山県氷見市長 石川県かほく市長	**〈企画委員〉** 岐阜県大野町長 静岡県静岡市長 愛知県豊川市長 三重県南伊勢町長	**〈企画委員〉** 福井県鯖江市長 滋賀県大津市長 京都府京田辺市長 大阪府高石市長 兵庫県養父市長 奈良県宇陀市長 和歌山県和歌山市長	**〈企画委員〉** 鳥取県鳥取市長 島根県益田市長 岡山県総社市長 広島県呉市長 山口県周南市長	**〈企画委員〉** 徳島県美波町長 香川県坂出市長 愛媛県西条市長 高知県須崎市長	**〈企画委員〉** 福岡県柳川市長 佐賀県武雄市長 長崎県佐世保市長 熊本県熊本市長 大分県日田市長 宮崎県宮崎市長 鹿児島県鹿屋市長 沖縄県浦添市長
〈構成員〉 ブロック内の市区町村長	**〈構成員〉** ブロック内の市区町村長	**〈構成員〉** ブロック内の市区町村長	**〈構成員〉** ブロック内の市区町村長	**〈構成員〉** ブロック内の市区町村長	**〈構成員〉** ブロック内の市区町村長	**〈構成員〉** ブロック内の市区町村長	**〈構成員〉** ブロック内の市区町村長	**〈構成員〉** ブロック内の市区町村長

東北フォーラム

東北フォーラムは、インフラを良好な状態で持続的に活用することを目指し、平成３０年４月２７日に設立されました。産学官民が一丸となってメンテナンスに取り組む社会の実現に向けて、活動してまいります。



フォーラムリーダー
石川雅美
（東北学院大学教授）

○活動目標

東北の自治体で構成される「インフラメンテナンス市区町村長会議（東北ブロック）」と連携して、自治体が抱えるインフラの維持管理に関する課題に取り組み、解決することを目的としています。

民間企業が有する技術（シーズ）と東北の自治体から寄せられたニーズとを結びつけるマッチングイベントや実証実験などを通じて、東北のインフラの効率的な維持管理に貢献したいと考えております。

○活動イメージ



○東北フォーラム企画委員

フォーラムリーダー	石川雅美（東北学院大学工学部）
企画委員長	遠藤敏雄（㈱復建技術コンサルタント）
企画委員	小野泰太郎（㈱小野建築研究所）、野木雄治（㈱小野工業所）、阿部裕彰（鹿島建設㈱）、齋藤一人（三共㈱） 新銀武（㈱中央コーポレーション）、河野正和（東亜道路工業㈱）、今野光博（東亜道路工業㈱） 中村寛（東亜道路工業㈱）、石倉武幸（東急建設㈱）、高橋秀輔（戸田建設㈱）、宮本圭司（戸田建設㈱） 阿部亮介（ニチレキ㈱）、金子雅明（パシフィックコンサルタンツ㈱）、小笠原光博（㈱福萬組） 後藤和彦（㈱復建技術コンサルタント）、林昭宏（㈱フジタ）

○国民会議会員になるメリット

国民会議では、企業、研究機関、施設管理者（市町村等）、市民団体等の会員がそれぞれ享受できるメリットを最大化する運営を行います。

民間企業

- ●インフラメンテナンスや国民会議の最新動向の情報を得ることができます。
- ●施設管理者等の実情やニーズについての情報を得ることができます。
- ●施設管理者や他の企業等に自社の技術や製品、サービスを知っていただくことができます。
- ●新たなビジネスチャンスやビジネスパートナーを発掘することができます。

市民団体等

- ●他の団体との交流及び活動企画の機会を得ることができます。
- ●行政の最新動向の情報を得ることができます。
- ●市民自らインフラの維持管理・更新に参画する機会を得ることができます。

施設管理者（市町村等）

- ●最新の技術や新たな取り組みの試行を行うモデル自治体として国や企業等からメンテナンスの支援が受けられます。
- ●アドバイザー等からの専門的アドバイスが受けられます。
- ●自治体職員が最新のメンテナンス技術を学べる研修を受講できます。（東北フォーラムは東北自治研修所との連携協定締結予定）
- ●先端的なメンテナンスの取り組みを行う自治体等の情報が得られます。
- ●最新のメンテナンス技術の情報を得られます。

東北フォーラムの活動紹介

マッチングイベント

地方公共団体が抱えるインフラメンテナンスに関するニーズの解決の糸口とすべく、企業が所有するシーズなどを紹介し、ニーズとシーズをマッチングさせるイベントです。

＜R4：in宮古＞

日時：令和４年１２月２０日
場所：宮古市市民交流センター
動員：約１１０名



マッチングイベントin宮古の様子

＜取扱シーズ＞

1. 建物の長寿命化計画策定に役立つ防水について
2. 港湾構造物・河川・護岸・堤防の水中部の点検を効率的に行う技術
3. 護岸・堤防の気中部点検を効率的に行う技術
4. UAV/SfM/GISをFULL活用し、中小河川の維持管理を高度化・効率化する技術
5. 港湾構造物（海中部）水中モニタリングシステム
6. 濁水下において水中構造物の点検作業を容易にする技術
7. 港湾構造物の維持更新トータル技術
8. 橋梁の鋼材・鉄筋の破断を非破壊検査出来る技術

＜参加者からのご意見＞

- 高齢化や人員が不足している中で、今回紹介していただいたような最新技術は、地元の要望に答えられるツールであると実感した。

＜R5：in仙台＞

日時：令和５年７月１３日
場所：仙台国際センター
動員：約１５０名



マッチングイベントin仙台の様子

＜取扱シーズ＞

1. 環境に優しい温水除草システム
2. ウィードコート工法　～雑草発生防止対策～
3. 植物のメカニズムを利用した雑草成長を抑制する歩車境界ブロックと技術～防草ブロック～
4. 振動低減舗装による振動対策～ロードサスペイブ～
5. マンホールまわりの段差修正による振動の軽減
6. 轍掘れの効果的な補修方法～ベアミックス～
7. マンホール人孔鉄蓋維持修繕工法～エポ工法～
8. マンホール蓋の維持補修を効率的に行う技術
9. FR横断側溝

＜参加者からのご意見＞

- 産学官を問わないニーズとシーズのマッチングは面白い取組だと思った。
- 今回のシーズは、SDGsへ配慮されたものもあり、時代にマッチしたものであると感心させられた。

実証実験

日時：令和５年１０月２５日
場所：東北技術事務所構内
動員：約７０名



令和５年度実証実験の様子

マッチングイベント等で取り扱ったシーズを実際に施工し、技術の比較施工を行っています。

＜実証実験の概要＞

過年度より、多数の地方公共団体から、境界ブロック付近の雑草の繁茂対策に困っているとニーズが寄せられていました。

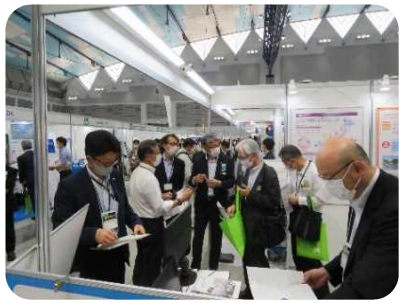
そこで、令和5年度のマッチングイベントでは、境界ブロック付近の防草対策技術を募集し、寄せられた課題に対して、シーズを発表しました。

令和5年度の実証実験では、東北地方整備局　東北技術事務所と連携し、マッチングイベントで紹介した企業に加え、より多くの技術を比較施工する実験を行いました。

今後、数年間にわたり、施工後の雑草の繁茂状況をモニタリングしていきます。

EE東北’23

日時：令和５年６月７～８日
場所：夢メッセみやぎ
動員：約１５０名



ＥＥ東北’２３の様子

東北フォーラムの活動を広くPRする事を目的に技術展示会に出展しています！

＜ＥＥ東北’２３の概要＞

建設事業に係わる新材料、新工法、新技術などを公開するイベントであるEE東北’23に出展し、インフラメンテナンスの重要性や東北フォーラムの活動を建設業関係者、官公庁、学生など多くの人へPRしました。

インフラメンテナンスに関するアンケート調査を実施した結果、回答者の約半数がインフラメンテナンス国民会議を知っており、昨年度よりも認知度が増加していました。

一方で、会員となっていたのは回答者全体の30%程度であったことから、今後も引き続き広報活動を実施して参ります。